

新生児一過性多呼吸で入院される赤ちゃんのご家族へ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日 /	2病日 /	3~5病日 / ~ /	6病日 /	7~9病日:退院 / ~ /
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 体温が36.8~37.5度に保たれている 酸素飽和度が85%以上である 				
	・経口哺乳ができる				
内服		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します	
注射	・点滴をします 		・点滴を抜きます		
検査	・採血 ・レントゲン	・レントゲン		・採血	
	・身長・体重測定 ・頭囲・胸囲測定	・体重測定(毎日) ・頭囲測定(週1回)			
処置	・保育器で過ごします		・保育器から赤ちゃん用ベッドに移ります 		
	・眼からの感染を予防するために軟膏を塗布します				
	・口から胃チューブを入れます			・医師の指示後、胃チューブを抜きます	
	・必要時、人工呼吸器を装着します				
	・心電図、酸素飽和度モニターをつけます			・医師の指示後、心電図、酸素飽和度モニターを外します	
食事	・絶食です	<ul style="list-style-type: none"> 1日8回、母乳またはミルクを胃チューブから注入します 呼吸状態が落ち着いたら、少しずつ経口哺乳が開始となります 母乳またはミルクは、消化の具合をみながら1回量を増やします 			<ul style="list-style-type: none"> 1日7~8回、母乳またはミルクを飲みます 医師の許可後、面会時に直接授乳ができます
清潔		・身体を拭きます	<ul style="list-style-type: none"> 沐浴をします  		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院オリエンテーションを行います 医師が治療の説明をします 本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します 		<ul style="list-style-type: none"> 沐浴指導、授乳指導を行います 母親学級のパンフレット等を用いて、育児指導を行います 		<ul style="list-style-type: none"> 医師が、入院中の経過と退院後に気をつけて欲しい事等について説明します 
その他	<ul style="list-style-type: none"> 新生児の成長発達を促すため、子宮内にいた時の姿勢に近づけたポジショニングを行います 処置や治療などによるストレスを緩和するケア(ホールディングやタッチングなど)を行います 				
	・同意書は職員にお渡しください		<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可後、看護師と一緒に、体温測定やおむつ交換、沐浴を行います 		

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。